

京都市会議員

日本共産党

森田 ゆみ子

ねがいとどく南區へ

9月市会で 代表質問に立ちました

皆さんの声をしっかり受け止め、
住み続けられる京都市政について
訴えました。



代表質問の
動画はこちら

自然も財政も破壊する 計画は中止を

北陸新幹線延伸計画について、国交省が示した「3つのルート案」はすべて南区の地下を通る計画です。地下水への影響や有毒性の掘削残土の処理、約30年の工期、5兆3千億円もの工事費など、多くの課題にどう対応するのかと追及しましたが、市長は「影響の低減を図る専門家の意見を聞き、意見を述べてきた」と無責任な答弁でした。

北陸新幹線延伸よりも、かつて大阪から富山まで結んでいたサンダーバードの直通再開こそ時間と費用がかからず現実的だと質しました。

住み続けられる 京都へ

若者が市外に流出する大きな原因の住宅問題で、他都市の事例も取り入れながら、市営住宅の入居条件の緩和や民間住宅への定住促進支援策などを求めました。どこに住んでいても片道料金で目的地まで行けるように、市バスの乗り継ぎ無料と市内すべての地域で地域内を走る循環バスの新設も提案しました。

巨大給食センターではなく 市民のスポーツの権利保障を

南区の東吉祥院公園(元塔南高校)に予定されている全員制中学校給食の巨大工場建設計画について、「グラウンドを増やしてほしい」などの市民の声を届けながら、大規模調理の食中毒のリスクや、給食の配送で多くのトラックが往来した時の交通事故のリスクや観光シーズンの交通渋滞、夏休みなどの長期休業中の調理員や運転手の賃金保障など多くの課題を追及しましたが、教育長は「リスク分散に努める」との答弁しかできませんでした。

巨大給食センター予定地周辺マップ



日本共産党京都市会議員団市政報告 2024年10月